

子育てに関する調査（0歳～未就学児）

令和6年6月

アンケート調査ご協力をお願い

日頃から児童福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

小諸市では令和2年度から令和6年度までの5か年を計画期間とする「小諸市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子育てのしやすい地域づくりを推進してきました。

今回、令和7年度からの次期計画の策定に向けた基礎資料とするため、市民の皆様の子育ての状況や、子ども・子育てに関するご意見等を把握するアンケート調査を実施することとしました。

ご記入いただいた調査内容については、子育て施策の検討に利用させていただくもので、回答者個人が特定されたり、他の目的に利用されたりすることはございませんので、率直なご意見をお聞かせください。

皆様のご意見が今後の小諸市の子ども・子育て支援を推進するうえで、大変重要な資料となりますのでご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

小諸市長 小泉 俊博

●ご記入にあたってのお願い

1. 対象者：このアンケートは、0歳～小学校未就学児のお子さんが対象です。

（令和6年6月1日時点）

お子さんについての問は、すべて封筒のあて名のお子さんが対象です。

2. 回答者：アンケートは、封筒のあて名のお子さんの保護者の方が回答ください。

1世帯に複数届く場合がありますが、1番下のお子さんの調査票にご回答ください。

3. 回答方法：調査は無記名で行い、統計的に処理するため、個人が特定されることはありませんので、率直にお答えください。インターネットによる回答も可能です。その場合は、以下URL または二次元コードから回答フォームにアクセスして、ご回答ください。

【インターネット回答フォーム】

questant.jp/q/●●●



紙の調査票で回答する場合は、ボールペン（消せるペンによる記入はご遠慮ください）か鉛筆で記入してください。記入方法は各設問の指示に従ってください。

4. 締 切：回答期限は●月●日(●)です。

お忙しいところ恐縮ですが、期限までにご回答いただくようお願いします。

紙の調査票で回答いただいた場合は同封の封筒にお入れいただき、お近くのポストへ投函してください（切手不要です）。

小諸市役所 保健福祉部

こども家庭支援課 こども政策係

電話：0267-22-1700（内線 2195）

1. ご回答いただく方についてうかがいます。

Q1 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。

あて名のお子さんからみた関係でお答えください。あてはまる番号 1 に○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他

Q2 この調査にお答えいただく方について、以下の質問にお答えください。

それぞれあてはまる番号 1 に○をつけてください。

A	配偶者の有無	1. いる 2. いない
	いる ↓ いない ↓ 「いない」に○をつけた方に伺います。 あてはまる状況を教えてください。(<u>1</u> に○) 1. 離婚 2. 死別 3. 未婚 4. その他 ()	
B	あなたの年齢	1. 10 歳代 2. 20 歳代 3. 30 歳代 4. 40 歳代 5. 50 歳代 6. 60 歳代以上
C	小諸市にお住まいの期間	1. 1 年未満 2. 1～3 年未満 3. 3～5 年未満 4. 5～10 年未満 5. 10～30 年未満 6. 30 年以上
D	お住まいの地区	1. 野岸小学校区 2. 坂の上小学校区 3. 水明小学校区 4. 美南ガ丘小学校区 5. 東小学校区 6. 千曲小学校区 7. 不明

2. お子さんとその家族の状況についてうかがいます。

お子さんについての問は、すべて封筒のあて名のお子さんが対象となります。

Q3 あて名のお子さんの生年月、年齢（回答日現在）を記入し、性別を選択してください。

西暦 年 月生まれ 歳 1. 男 児 2. 女 児

Q4 あて名のお子さんとそのきょうだい全員を含めた、お子さんの合計人数をお書きください。

お子さんが 2 人以上いる場合は、1 番下のお子さんの年齢もお書きください。

お子さんの合計 人 1 番下のお子さんの年齢 歳

Q5 あて名のお子さんからみて、同居しているすべての方に○をつけてください。

1. 父親 2. 母親 3. 祖父 4. 祖母 5. 叔父 6. 叔母 7. その他 8. いない

→ 同居されている家族の合計人数 人（お子さん・あなたも含む全員）

Q6 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。

お子さんからみた関係であてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他（ ）

Q7 あて名のお子さんの親の最終学歴（卒業した学校）について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	中学(中学部)まで	高校(高等部)まで	短大・高専・専門学校(専攻科)まで	大学またはそれ以上	回答したくない
母親	1	2	3	4	5
父親	1	2	3	4	6

Q8 父親が同居されている方にうかがいます。

父親のおおよその年間収入（手取り）について、あてはまる番号1つに○をつけてください。（同居のない場合は記入不要です。）

- | | | |
|------------------|-----------------|-----------------|
| 1. 収入を得ていない | 2. 50万円未満 | 3. 50～100万円未満 |
| 4. 100～150万円未満 | 5. 150～200万円未満 | 6. 200～250万円未満 |
| 7. 250～300万円未満 | 8. 300～350万円未満 | 9. 350～400万円未満 |
| 10. 400～450万円未満 | 11. 450～500万円未満 | 12. 500～600万円未満 |
| 13. 600～700万円未満 | 14. 700～800万円未満 | 15. 800～900万円未満 |
| 16. 900～1000万円未満 | 17. 1000万円以上 | 18. わからない |

Q9 母親が同居されている方にうかがいます。

母親のおおよその年間収入（手取り）について、あてはまる番号1つに○をつけてください。（同居のない場合は記入不要です。）

- | | | |
|------------------|-----------------|-----------------|
| 1. 収入を得ていない | 2. 50万円未満 | 3. 50～100万円未満 |
| 4. 100～150万円未満 | 5. 150～200万円未満 | 6. 200～250万円未満 |
| 7. 250～300万円未満 | 8. 300～350万円未満 | 9. 350～400万円未満 |
| 10. 400～450万円未満 | 11. 450～500万円未満 | 12. 500～600万円未満 |
| 13. 600～700万円未満 | 14. 700～800万円未満 | 15. 800～900万円未満 |
| 16. 900～1000万円未満 | 17. 1000万円以上 | 18. わからない |

Q10 あなたが、現在の暮らしの状況をどのように感じているかについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-----------|--------|
| 1. 大変ゆとりがある | 2. ゆとりがある | 3. ふつう |
| 4. 苦しい | 5. 大変苦しい | |

Q11 家計の支出の中で、負担が大きいと感じるもの3つに○をつけてください。

1. 食費
2. 衣類などの身の回りの物の費用
3. 光熱水費
4. 家賃や住居にかかる費用
5. 医療費
6. 保育料や教材費などの学校等にかかる費用
7. 学習塾や習い事など学校以外の教育等にかかる費用
8. 趣味やレジャー等の遊興費
9. その他（ ）

Q12 お子さんを預かってもらえる人はいますか。

日常・緊急時それぞれについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|------|-------------|----------|--------|
| 日 常： | 1. 祖父母などの親族 | 2. 友人・知人 | 3. ご近所 |
| | 4. その他（ ） | | 5. いない |
| 緊急時： | 1. 祖父母などの親族 | 2. 友人・知人 | 3. ご近所 |
| | 4. その他（ ） | | 5. いない |

Q13 子育てをする上で悩みや不安を感じることはありますか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

1. ある 2. ときどきある 3. あまりない 4. ない 5. わからない

「1. ある/2. ときどきある」と回答した方にうかがいます。

具体的な悩みや不安について、あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。

1. 病気や発育・発達に関すること
2. 食事や栄養に関すること
3. 育児のことがよくわからないこと
4. 子どもとの接し方に自信がもてないこと
5. 子どもと過ごす時間が十分とれないこと
6. 子どもの教育に関すること
7. 子どもの友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること
8. 子どもの登所・登園拒否、不登校などの課題
9. 子育てに関して配偶者・パートナーの協力がいないこと
10. 配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと
11. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見る目が気になること
12. 子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと
13. 仕事や自分のやりたいこと、夫婦で楽しむことなど自分の時間がとれないこと
14. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
15. 子育てのストレス等から、子どもに手をあげたり、叱りすぎたり、世話をしなかったりしてしまうこと
16. 子育てによる身体の疲れが大きいこと
17. 子育てに係る出費がかさむこと
18. 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれないこと
19. その他（ ）

Q14 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。または相談できる場所がありますか。相談できる人や場所が「いる／ある」場合は、気軽に相談できる先について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

①子育てについて 気軽に相談できる人	 1. いる 2. いない	気軽に相談できる人<u>すべて</u>に○をつけてください。 - 配偶者 - 祖父母などの親族 - 友人や知人 - 近所の人 - 保育園・幼稚園の先生 - 民生委員・児童委員 - かかりつけの医師 - その他()
②子育てについて 気軽に相談できる場所	 1. ある 2. ない	気軽に相談できる場所<u>すべて</u>に○をつけてください。 - 保育園（認可保育所）・幼稚園 - こども家庭センター （こども家庭支援課・健康づくり課） - 子育て支援施設（こもロッジ、児童館） - かかりつけの病院 - 民間の子育て支援団体・NPOなど - その他（ ）

Q15 子育てや子どもへの地域のかかわりについてうかがいます。あなたが地域に期待するのはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもに気軽にあいさつやおしゃべりをしてくれる
2. 子どもがいたずらや危険なことをしたときに注意や報告をしてくれる
3. 通園・通学時に安全を確保してくれる
4. 子どもにスポーツや遊びなどの指導をしてくれる
5. 緊急時に子どもを一時的に預かってくれる
6. 子育てについて気軽に相談やアドバイス、情報交換をしてくれる
7. 関わってほしくない
8. その他（ ）
9. 特になし

3. 平日の定期的な教育・保育事業の利用についてうかがいます。

※「定期的な教育・保育事業」とは、年間を通じて月単位で継続的に利用している事業を指します。

Q16 平日に、以下のような定期的な教育・保育事業を利用していますか。

利用していない場合、その理由として、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

幼稚園／幼稚園の預かり保育／保育園（認可保育所）／認定こども園／事業所内保育施設／認可外保育施設／企業主導型保育施設／ファミリーサポートセンター事業 など

1. 利用している ⇒Q16-1～Q16-3へ

2. 利用していない

〔利用していない理由〕

1. （子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間などの時間帯の条件があわない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため（ 歳くらいになったら利用しようと考えている）
9. その他（）

「利用していない理由」を回答後、Q17へ進んでください

Q16-1 お子さんは、平日どのような教育・保育の事業を定期的に利用していますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

番号	事業名
1	幼稚園
2	幼稚園の預かり保育（通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3	認定こども園
4	認可保育所
5	事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
6	ファミリーサポートセンター
7	保育園・幼稚園での一時保育
8	その他の認可外の保育施設
9	その他（ ）

Q16-2 教育・保育の事業をどのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週あたりの日数、1日あたりの時間（何時から何時まで）をお書きください。

※Q16-1 で複数の事業を選択した場合は、合計した日数、時間をお書きください。

※時間は、(例)09時～18時のように 必ず24時間制でお書きください。

(1) 現在

1 週あたり		日	1 日あたり		時間		分	(		時		分	～		時		分)
--------	----------------------	---	--------	----------------------	----	----------------------	---	---	----------------------	---	----------------------	---	---	----------------------	---	----------------------	----

(2) 希望

1 週あたり		日	1 日あたり		時間		分	(		時		分	～		時		分)
--------	----------------------	---	--------	----------------------	----	----------------------	---	---	----------------------	---	----------------------	---	---	----------------------	---	----------------------	----

Q16-3 平日に定期的な教育・保育事業を利用されている理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため 2. 子育てをしている方が現在就労している 3. 子育てをしている方が就労の予定がある／求職中である 4. 子育てをしている方が家族・親族などを介護している 5. 子育てをしている方に病気や障がいがある 6. 子育てをしている方が学生である 7. その他（	
--	------------------------------

Q17 すべての方にうかがいます。

以下のことを前提に設問にお答えください。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、年間を通じて月単位で継続的に利用を予定している事業についてうかがいます。

利用しているまたは利用予定の事業をすべて選び、番号に○をつけてください。

番号	事業名
1	幼稚園
2	幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3	認定こども園
4	認可保育所
5	事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
6	ファミリーサポートセンター
7	保育園・幼稚園での一時保育
8	その他の認可外の保育施設
9	その他（

4. 子育て支援施設や事業の利用状況などについてうかがいます。

Q18 「親子が集まって過ごしたり、相談したりする施設や場」についてうかがいます。
知っているかどうか、利用しているかどうか、今後の利用希望についてお答えください。

番号	施設名	知っているか	現在利用しているか	今後利用したいか
1	こもロッジ (親子が集まって過ごしたり、相談をしたりする場)	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用している (1ヶ月あたり 回) 2. 利用していない	1. 利用したい (1ヶ月あたり 回) 2. 利用する予定はない
2	児童館	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用している (1ヶ月あたり 回) 2. 利用していない	1. 利用したい (1ヶ月あたり 回) 2. 利用する予定はない

Q19 小諸市で利用できる以下の事業についてうかがいます。
知っているかどうか、利用したことがあるかどうか、今後の利用希望について、あてはまる番号
すべてに○をつけてください。

番号	事業名	知っている事業 <u>すべてに○</u>	利用した事業 <u>すべてに○</u>	今後利用したい事業 <u>すべてに○</u>
1	母親(父親)学級、両親学級、育児学級	1	1	1
2	保健センター(健康づくり課)の情報・相談事業	2	2	2
3	家庭教育に関する学級・講座	3	3	3
4	教育支援センター・教育相談	4	4	4
5	保育所や幼稚園の園庭等の開放	5	5	5
6	こども家庭センター(こども家庭支援課・こども相談係)の相談事業	6	6	6

5. 土日祝日の定期的な教育・保育事業の利用についてうかがいます。

Q20 土曜日と日曜日・祝日に、幼稚園や保育園（認可保育所）などの教育・保育事業を定期的に利用
したいと思いますか。あてはまる番号 **1 つ**に○をつけてください。

利用予定がある場合は、理由と時間帯をお書きください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生する場合があります。

※時間は、(例)09時～18時のように 必ず 24 時間制でお書きください。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用予定
3. 月に1、2回は利用したい

[A] 利用する理由（もっともあてはまるもの1つ）

1. 仕事のため
2. 家族の介護のため
3. リフレッシュのため
4. その他（ ）

[B] 利用する時間帯 ※ 24 時間制で記入

□	時	□	分から	□	時	□	分まで
---	---	---	-----	---	---	---	-----

(2) 日曜日・祝日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用予定
3. 月に1、2回は利用したい

} →

[A] 利用する理由（もっともあてはまるもの1つ）

1. 仕事のため
2. 家族の介護のため
3. リフレッシュのため
4. その他（ ）

[B] 利用する時間帯 ※ 24 時間制で記入

□	時	□	分から	□	時	□	分まで
---	---	---	-----	---	---	---	-----

Q21 「幼稚園」及び「認定こども園」の幼稚園部分を利用されている方にうかがいます。

夏休み・冬休みなど長期休暇期間に幼稚園や認定こども園（幼稚園部分）の預かり保育などの利用を予定していますか。時間帯は、必ず24時間制でご記入ください。

1. 今のところ利用する考えはない

2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用予定

3. 休みの期間中、週に数日利用予定

利用する時間帯 ※ 24 時間制で記入

時 分 から 時 分 まで

6. お子さんが病気などになった時についてうかがいます。

下記の設問は、Q17 で平日に保育園(認可保育所)や幼稚園などの定期的な教育・保育事業を利用している方がお答えください。利用していない方は Q24 へお進みください。

Q22 この 1 年間で、お子さんの病気やケガで保育所や幼稚園などに通えないことがありましたか。
あてはまる番号 1 つ に○をつけてください。

1. あった 2. なかった ⇒Q24 へ

↓
病気やケガで保育園や幼稚園などに通えなかった場合、この 1 年間に行った対処方法として、あてはまる番号 すべて に○をつけてください。

○をつけたものについては、この 1 年間での対応日数もお書きください。半日程度の対応の場合も 1 日と数えてください。

対処方法	年間対応日数
1. 父親が休んだ	日
2. 母親が休んだ	日
3. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	日
4. 父親もしくは母親のうち、就労していない方がお子さんをみた	日
5. 病児・病後児保育を利用した	日
6. 一時預かり保育(託児)を利用した	日
7. ファミリーサポートセンター事業を利用した	日
8. 仕方なくお子さんだけで留守番をさせた	日
9. その他 ()	日

Q23 Q22 で「1. 父親が休んだ」「2. 母親が休んだ」と回答した方にうかがいます。

その際、「できれば、病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。あてはまる番号 1 つ に○をつけてください。「1. 利用したいと思った」と回答した場合は、年間利用希望日数をお書きください。なお、病児・病後児保育などの利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. 利用したいと思った → 1 年間で 日程度
2. 利用したいと思わなかった

7. 不定期の一時預かりなどの利用についてうかがいます。

Q24 この１年間で、私用、家族の病気、不定期の就労などの目的で、一時預かりや幼稚園の預かり保育などの事業を不定期に利用しましたか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

1. 利用した 2. 利用していない ⇒Q25へ

利用した事業についてあてはまる番号すべてに○をつけ、この1年間の利用日数をお書きください。

この 1 年間で利用した事業	年間利用日数
1. 一時預かり（私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業）	日
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長預る事業のうち不定期に利用する場合のみ）	日
3. ファミリーサポートセンター事業（地域住民が子どもを預かる事業）	日
5. ベビーシッター	日
6. その他（ ）	日

Q25 Q24で「2. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

利用していない理由として、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業がない
3. 事業の質に不安がある
4. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない
8. 事業の利用方法（手続き）がわからない
9. 手続きや手配が面倒
10. その他（ ）

利用したい場合、今後1年間の希望日数を記入し、利用したい事業としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。なお、事業の利用にあたっては一定の利用料がかかります。

1. 利用したい 2. 今のところ利用する考えはない ⇒Q27へ

今後、1年間で利用したい日数をお書きください。

目的	年間利用希望日数
1. 私用（買物、お子さんや親の習い事）や親のリフレッシュの目的	日
2. 冠婚葬祭、学校行事、お子さん（きょうだいを含む）や親の通院など	日
3. 不定期の就労	日
4. その他（ ）	日

8. あて名のお子さんが5歳以上である方に、小学校入学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

お子さんについての問は、すべて封筒のあて名のお子さんが対象となります。小学校入学後を想定しご回答ください。(あて名のお子さんが5歳未満の場合は、Q29 へお進みください。)

Q27 お子さんが小学生になったら、平日の小学校終了後（放課後）にどのような場所・事業を利用させたいと思いますか。低学年と高学年について、それぞれ、希望する利用日数を、合計がおお
よそ週5日になるようにお書きください。

また、「放課後児童クラブ」を選択した場合には、利用を希望する時間をお書きください。

※時間は、(例)09時～18時のように 必ず24時間制でお書きください。

放課後を過ごさせたい場所・利用したい事業	低学年 (1～3年生)	高学年 (4～6年生)
1. 自宅	週 日くらい	週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい	週 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室・サッカークラブ・学習塾など)	週 日くらい	週 日くらい
4. 児童館	週 日くらい	週 日くらい
5. 放課後児童クラブ(学童保育) ※1	週 日くらい ⇒下校時から 時 分まで	週 日くらい ⇒下校時から 時 分まで
6. ファミリーサポートセンター	週 日くらい	週 日くらい
7. その他(公民館、公園など)	週 日くらい	週 日くらい

※1 「放課後児童クラブ」…市では学童保育(学童クラブ)と呼んでいます。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては一定の利用料がかかります。

Q28 お子さんの土曜日、日曜日・祝日、長期休暇期間中における、放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望についてうかがいます。次の（１）～（３）について、あてはまる番号１つに○をつけてください。また、利用を希望する時間をお書きください。

※時間は、(例)09時～18時のように 必ず24時間制でお書きください。

なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

（１）土曜日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望

1. 低学年（１～３年生）の間は利用したい	※24時間制で記入
利用したい場合：時間帯	時 分から 時 分まで
2. 高学年（４～６年生）になっても利用したい	※24時間制で記入
利用したい場合：時間帯	時 分から 時 分まで
3. 今のところ利用する考えはない	

（２）日曜日・祝日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望

1. 低学年（１～３年生）の間は利用したい	※24時間制で記入
利用したい場合：時間帯	時 分から 時 分まで
2. 高学年（４～６年生）になっても利用したい	※24時間制で記入
利用したい場合：時間帯	時 分から 時 分まで
3. 今のところ利用する考えはない	

（３）長期休暇期間中（夏休み・冬休みなど）の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望

1. 低学年（１～３年生）の間は利用したい	※24時間制で記入
利用したい場合：時間帯	時 分から 時 分まで
2. 高学年（４～６年生）になっても利用したい	※24時間制で記入
利用したい場合：時間帯	時 分から 時 分まで
3. 今のところ利用する考えはない	

9. 母親の就労状況(働き方)についてうかがいます。

フルタイムの定義は、「1週5日程度、1日8時間程度の労働(農業、自営業、在宅勤務やフリーランスなども含む)」とします。

父親のひとり親家庭の場合は記入不要です。

Q29 母親の就労状況(働き方)は次のうちどれですか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. フルタイムで就労しており、育休・介護休職中ではない	⇒Q30へ
└ ➡ 就労状況(1つに○) [1.正社員・正規職員 2.嘱託・契約社員等 3.自営業]	
2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休職中である	⇒Q32へ
3. パート・アルバイトなどで就労しており、育休・介護休職中ではない	
4. パート・アルバイトなどで就労しているが、育休・介護休職中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	

Q30 Q29で「1～4. 就労している」と答えた方にうかがいます。

就労日数、就労時間、家を出る時間と帰宅時間について、もっとも多いパターンをお書きください。また、就労日数のうち、土曜日、日曜日の就労がある場合はあてはまる番号 1 つに○をつけてください。なお、休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1 週あたりの 就労日数	1 日あたりの 就労時間	家を出る時間 ※24 時間制で記入	帰宅時間 ※24 時間制で記入	土曜日の 就労の有無	日曜日の 就労の有無
日	時間 分	時 分	時 分	1. あり 2. なし	1. あり 2. なし

⇒Q29で「1、2フルタイムで就労している」と回答した方は、回答後 Q33 へお進みください。

Q31 Q29で「3、4 パート・アルバイトなどで就労している」と答えた方にうかがいます。

フルタイムへの転換希望について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイトなどの継続を希望している
4. パート・アルバイトなどをやめて、子育てや家事に専念したい

Q32 Q29で「5. 就労していない/6. 就労したことがない」と答えた方にうかがいます。

就労への希望について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

「2」または「3」と回答した方は希望する就労形態や日数などをお書きください。

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、もしくは一番下の子どもが 歳になったころには就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

➡

(1) 希望する就労形態	1. フルタイム 2. パート・アルバイト
(2) 希望する1週あたりの就労日数	日
(3) 希望する1日あたりの就労時間	時間 分

10. 母親の育児休業についてうかがいます。

封筒のあて名のお子さんが生まれたときのことをお書きください。

父親のひとり親家庭の場合は記入不要です。

Q33 あて名のお子さんが生まれたときの育児休業の取得について、あてはまる番号 1つ に○をつけてください。

- | | | | |
|------------|--------|------------|--------|
| 1. 取得した | ⇒Q34 へ | 2. 取得中である | ⇒Q34 へ |
| 3. 取得していない | ⇒Q38 へ | 4. 就労していない | ⇒Q38 へ |

Q34 Q33で「1. 取得した」「2. 取得中である」と回答した方にうかがいます。

育児休業の取得期間について、あてはまる番号 1つ に○をつけてください。

※現在、育児休業取得中の方は予定をお答えください。

- | | | |
|-------------|---------------|--------------|
| 1. 1ヶ月未満 | 2. 1ヶ月以上3ヶ月未満 | 3. 3ヶ月以上半年未満 |
| 4. 半年以上1年未満 | 5. 1年以上 | 6. その他（ ） |

Q35 Q33で「1. 取得した」「2. 取得中である」と回答した方にうかがいます。

職場への復帰時期と希望の復帰時期を お子さんの年齢でお書きください。

※現在、育児休業取得中の方は予定をお答えください。

	職場への復帰時期	希望の復帰時期
お子さんの年齢	歳 ヶ月	歳 ヶ月

Q36 復職された方で、職場への復帰が当初の希望復帰時期よりも早かった方にうかがいます。

その理由について、最もあてはまる番号 1つ に○をつけてください。

- | |
|--------------------------|
| 1. 希望する保育園（認可保育所）に入るため |
| 2. 父親や家族の希望のため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため |
| 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他（ ） |

Q37 復職された方で、職場への復帰が希望復帰時期よりも遅かった方にうかがいます。

その理由について、最もあてはまる番号 1つ に○をつけてください。

- | |
|--------------------------|
| 1. 希望する保育園（認可保育所）に入れないため |
| 2. 自分や子どもの体調が思わしくないため |
| 3. 父親や家族の希望のため |
| 4. 職場の受け入れ態勢が整っていないため |
| 5. 子どもをみてる人がいないため |
| 6. その他（ ） |

11. 父親の就労状況(働き方)についてうかがいます。

フルタイムの定義は、「1週5日程度、1日8時間程度の労働(農業、自営業、在宅勤務やフリーランスなども含む)」とします。

母親のひとり親家庭の場合は記入不要です。

Q38 父親の就労状況(働き方)は次のうちどれですか。あてはまる番号 1つ に○をつけてください。

1. フルタイムで就労しており、育休・介護休職中ではない ↳ 就労状況 (<u>1つ</u> に○) [1.正社員・正規職員 2.嘱託・契約社員等 3.自営業]	⇒Q39へ
2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休職中である	
3. パート・アルバイトなどで就労しており、育休・介護休職中ではない	⇒Q41へ
4. パート・アルバイトなどで就労しているが、育休・介護休職中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	

Q39 Q38で「1～4. 就労している」と答えた方にうかがいます。

就労日数、就労時間、家を出る時間と帰宅時間について、もっとも多いパターンをお書きください。また、就労日数のうち、土曜日、日曜日の就労がある場合はあてはまる番号 1つ に○をつけてください。なお、休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1 週あたりの 就労日数	1 日あたりの 就労時間	家を出る時間 ※24 時間制で記入	帰宅時間 ※24 時間制で記入	土曜日の 就労の有無	日曜日の 就労の有無
日	時間 分	時 分	時 分	1. あり 2. なし	1. あり 2. なし

⇒Q38で「1、2フルタイムで就労している」と回答した方は、回答後 Q42 へお進みください。

Q40 Q38で「3、4 パート・アルバイトなどで就労している」と答えた方にうかがいます。

フルタイムへの転換希望について、あてはまる番号 1つ に○をつけてください。

- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイトなどの継続を希望している
- パート・アルバイトなどをやめて、子育てや家事に専念したい

Q41 Q38で「5. 就労していない/6. 就労したことがない」と答えた方にうかがいます。

就労への希望について、あてはまる番号 1つ に○をつけてください。

「2」または「3」と回答した方は希望する就労形態や日数などをお書きください。

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)		
2. 1年より先、もしくは一番下の子どもが 歳になったころには就労したい		
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労をしたい		
↳	(1) 希望する就労形態	1. フルタイム 2. パート・アルバイト
	(2) 希望する1週あたりの就労日数	日
	(3) 希望する1日あたりの就労時間	時間 分

12. 父親の育児休業についてうかがいます。

封筒のあて名のお子さんが生まれたときのことをお書きください。

母親のひとり親家庭の場合は記入不要です。

Q42 あて名のお子さんが生まれたときの育児休業の取得について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 取得した	⇒Q43 へ	2. 取得中である	⇒Q43 へ
3. 取得していない	⇒Q45 へ	4. 就労していない	⇒Q46 へ

Q43 Q42で「1. 取得した」「2. 取得中である」と回答した方にうかがいます。

育児休業の取得期間について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 1ヶ月未満	2. 1ヶ月以上3ヶ月未満	3. 3ヶ月以上半年未満
4. 半年以上1年未満	5. 1年以上	6. その他（ ）

Q44 Q42で「1. 取得した」「2. 取得中である」と回答した方にうかがいます。

育児休業を取得した理由として、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 保育園（認可保育所）に入れなかったため
2. 母親や子どもの体調が思わしくなかったため
3. 母親や家族の希望のため
4. 積極的に育児参加したいため
5. 職場の制度や理解が進んでいて取得しやすかったため
6. その他（ ）

Q45 Q42で「3. 取得していない」と答えた方にうかがいます。

取得していない理由として、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 母親が主に育児をするため、育児休業制度を利用する必要がなかった
2. 子育てや家事に専念するため退職した
3. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
4. 職場に育児休業制度がなかった
5. 取得すると仕事への影響が大きいため
6. 取得すると収入が減少してしまうため
7. 育児休業を取得できることを知らなかった
8. その他（ ）

13. ヤングケアラーについてうかがいます。

Q46 ヤングケアラーという言葉を知っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|----------------|---------|
| 1. 言葉も内容も知っている | 2. 言葉は聞いたことがある | 3. 知らない |
|----------------|----------------|---------|

Q47 ヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 本人に様子を聞く | 2. 家族・友人・知人に相談する |
| 3. 保育所や幼稚園に相談する | 4. 関係機関に相談する |
| 5. 何もしない | 6. わからない |
| 7. その他 (|) |

14. こども誰でも通園制度についてうかがいます。

Q48 から Q50 は、0～2歳のお子さんがおり、保育園等に通っていない方がご回答ください。
それ以外の方は、Q51 にお進みください。

Q48 こども誰でも通園制度を知っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|---------------------|---------|
| 1. 名前も内容も知っている | 2. 名前は知っているが内容は知らない | 3. 知らない |
|----------------|---------------------|---------|

Q49 「こども誰でも通園制度」は、保育所等に通っていないお子さんが、保護者の就労要件や理由を問わず、時間単位で保育所等を利用することができる制度です。国は令和7年度からの本格実施を目指しています。

〈制度の概要〉利用対象：0歳6か月～2歳まで

利用時間：月 10 時間が上限 利用料：有料（予定）

こども誰でも通園制度を利用したいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|----------------|------------|
| 1. とても利用したい | 2. できれば利用してみたい | 3. 利用したくない |
|-------------|----------------|------------|

Q50 Q49 で1～2と答えた方にお聞きします。利用したい・してみたい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 夫婦共働きのため | 2. 育児疲れの軽減 |
| 3. 自分の自由時間を作るため | 4. 趣味の時間を増やすため |
| 5. 妊娠・出産のため | 6. ご自身の病気のため |
| 7. 求職活動のため | 8. パパ友・ママ友作りのため |
| 9. ご自身またはパートナーの就学のため | 10. 同居家族・親族の介護や看護のため |
| 11. その他 (|) |

15. 「こどもの権利」についてうかがいます。

Q51 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識したことはありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. 常に行っている | 2. ときどきしている |
| 3. あまりしていない | 4. まったくしたことがない |

Q52 あなたは、「こどもの権利」を知っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1. 名前も内容も知っている | 2. 名前は知っているが内容は知らなかった |
| 3. 知らなかった | |

16. 子育て全般についてうかがいます。

Q53 小諸市における子育ての環境や支援への満足度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

低い	やや低い	普通	やや高い	高い
1	2	3	4	5

Q54 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。



アンケートへのご協力ありがとうございました。

●月●日(●)までに

ご記入いただいた調査票を同封の返信用封筒に入れ、投函してください。
切手は不要です。